

Active Directory システム更改業務 調達仕様書

1. 総則

1.1 件名

Active Directory システム更改業務 一式

1.2 目的

本仕様書は、現行の Active Directory (以下「AD」) システムの老朽化および保守期限到来に伴い、認証基盤の更改を行うための調達に関し必要な要件を定める。

1.3 契約期間・利用期間・稼働期限

- 構築・移行期間: 契約締結日から本番稼働開始日まで。本期間は利用期間 (60 ヶ月) に含めない。
- システム利用期間: 令和9年 (2027 年) 3 月 1 日から 60 ヶ月
- 提案者は、上記期限内の確実な稼働に向けた実現可能なスケジュールを提示すること。期限内稼働が困難となるおそれのある事項 (前提・リスク) は提案書に明示すること。

1.4 用語の定義

- 本システム: 本調達により更改する AD 認証基盤
- 現行システム: 現在稼働中の AD・ファイルサーバ同一筐体構成
- 既存 FS: 現行システムのうち延長利用するファイルサーバ (Windows)
- LGWAN: 地方公共団体情報システム機構 (J-LIS) が管理・運営する総合行政ネットワーク
- DC: ドメインコントローラ

2. 現行システムの概要

- 構成: AD・ファイルサーバを同一筐体で冗長化
- 提供役割: AD / DNS (AD 統合) / ファイルサーバ
- 稼働形態: オンプレミス
- ネットワーク: LGWAN
- 拠点数: 1 拠点
- 利用者数: 約 150 名
- 組織構成: 12 部局 + 下部部局 4 (計 16 部局)

3. 調達範囲

3.1 対象範囲

- AD 認証基盤の更改 (DNS の役割移行を含む)
- 既存 FS との AD 認証連携 (アクセス権制御を含む)
- 現行 AD から本システムへの移行作業一式

3.2調達対象外

- 既存 FS のハードウェア・OS 更改(延長利用)

4. 提供形態・システム要件

4.1提供形態

次のいずれか、又は組合せを許容する。提案者が最適構成を提案すること。

1. 導入事業者の所有するデータセンタによるシステムの提供
2. LGWAN 上でサービス提供されるクラウドサービス

必須条件:いずれの形態でも当町の庁内 LAN (LGWAN) 上で稼働するものとし、

インターネットを経由しないこと。

なお、新たな回線・機器が必要な場合は、これに要する全ての費用を見積金額に含めること。

4.2機能要件

- ドメインサービス(認証・認可)
- 16 部局の組織構造を反映した OU 設計
- グループポリシー (GPO) による端末・利用者制御
- 約 150 ユーザ／セキュリティグループの管理
- DNS (AD 統合) の移行・継承
- 既存 FS (WS2016) とのアクセス権連携 (NTFS・共有権限)
- ドメインコントローラの冗長構成

4.3非機能要件

- 可用性:システムやサービスを提供する基盤は、完全冗長された単一障害点の無い環境とすること
- 性能:約 150 名の同時ログオンに支障のない応答性能
- 拡張性:将来のユーザ・OU 増加に対応可能なこと
- セキュリティ:インターネット非接続を維持し、LGWAN の安全性を担保すること
- バックアップ:定期バックアップと復旧手順を整備すること
- 監査:ログオン・権限変更等の監査ログを取得可能とすること

5. 移行要件

1. 本更改は現行ドメインを継承する方式とし、ドメイン名・ドメイン SID を維持する。既存 FS・クライアント端末のドメイン再参加を原則不要とすること。
2. AD・ファイルサーバ同一筐体構成から AD のみを分離して更改し、既存 FS は稼働を継続する。
3. 新 DC を既存ドメインへ追加参加させ、ディレクトリ情報(アカウント・グループ・OU・GPO)

を複製のうえ、FSMO 役割の移行、旧 DC の降格・撤去を行う方式を基本とする。同等以上の他方式を提案する場合はその妥当性を明記すること。

4. 既存 FS のアクセス権 (NTFS 権限・共有権限・SID) の継続性を担保し、権限再設定を要しない移行とすること。
5. DNS の役割を新 AD 側へ移行すること。DNS ゾーン・レコード、オプション設定を漏れなく継承し、移行後は既存 FS から当該役割を安全に削除すること。
6. 移行に伴う利用者影響 (再ログオン・プロファイル・ドライブマッピング等) を最小化すること。
7. 移行リハーサル、移行手順書を策定・提出すること。
8. 移行中のドメイン認証・名前解決の停止時間を最小化し、想定停止時間を提案書に明記すること。
9. スケジュール要件
 - 本番稼働は、令和 9 年 (2027 年) 3 月 1 日とする。
 - 契約締結後、速やかに詳細設計・移行計画に着手すること。
 - 工程には、設計・構築・移行リハーサル・本移行・切戻し検証・稼働判定を含めること。
 - 遅延リスクを識別し、回避・軽減策およびコンティンジェンシープラン (挽回策) を提案書に明記すること。
 - マイルストーンごとの進捗管理方法・報告方法を提示すること。

6. 保守・運用要件

- 利用期間 60 ヶ月の運用・保守サポートを提供すること。
- 障害対応窓口・対応時間など、サービスの対応基準を提案すること。
- OS/ソフトウェアの更新方針 (LGWAN 環境での適用方式を含む) を提案すること。
- 定期的な稼働報告・運用支援を実施すること。
- 既存 FS のサポート状況が本システムの認証連携・セキュリティに与える影響について、把握している範囲で提案書に記載すること。

7. その他

- 本調達にあたり当町の情報セキュリティポリシー他関連する法令等を遵守すること。
- 本仕様書に定めのない事項は、当町と受注者の協議により定める。